

## モニターツアーのアンケート結果(抜粋)

### 1. 今回の料金について

エイ・ビー・アール(2泊3日 21000円)

かなり安い(1)

適正(3)

かなり高い(1)

表示無し (1)

グリーンプラスコ (2泊3日 26700円 一人部屋32700円)

かなり安い(1)...40000円

適正(3)

かなり高い(1)...18000~20000円

ふるさと帰郷支援センター (今回2泊3日で22,000円)

適正(11) 希望価格 20,000円~26,000円

やや安い(7) 希望価格 25,000円~27,000円

安い(3) 希望価格 30,000円

やや高い(3) 希望価格 19,800円~15,000円

東京都子ども会連合会 (3泊4日 27000円)

やや安い (1) 27000円

適正 (3) 25000円

やや高い(3) 21000~24000円

かなり高い(1) 20000円(東京から交通費がかかる)

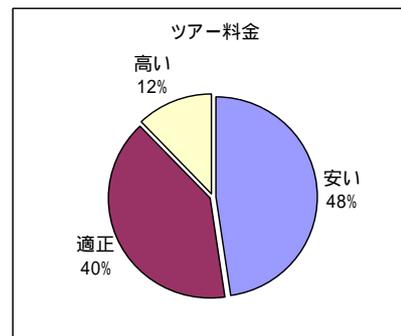
文化学園健保組合(自己負担 1000円 + 補助 4000円 + 謝金 3000円 )

適正 (9)

やや安い (5) 4200円

かなり安い (14) 4500円、5000円(2)、8000円(4)、12000円、15000円

表示無し (2)



### 2. 相部屋割引によって価格が安価となり、長期滞在が可能になると思うか。

思う(3)

- ・考えていたよりお安く驚きです。
  - ・経済的な負担が少ない方が、リピーターも長期滞在もしやすいと思います。
  - ・ある程度の知り合いならば良いと思う。
- どちらとも言えない(2)
- ・シーズンによるかもしれないが、連泊する意味を見出せなかった。さほど割安感もなかった。
  - ・コテージ利用は「1棟いくら」と決め、大人数で申し込んだ方がお得という事でよいのでは。

### 3. 連泊によつての長期滞在は可能かについての返答

- ・年齢的にも違うと思う。
- ・外国では3万円出せば、かなりのコースが2泊でも選べる。
- ・立場にもよるが、サラリーマンは難しい
- ・「ダイエット」「断食」「エステ」など具体的にプログラムを売りにして、最初から1週間プログラムを全体として低価格で企画すれば更によいと思う。
- ・価格が安くなくてもプログラム(ワークショップ)・アロマが価格内に含まれれば適正になると思う。
- ・高額であれば連泊どころか1泊もできなくなるが、安価であれば連泊も可能となり、リラックスできて、リフレッシュできる。

### 4. 宿泊分離と長期滞在について

- ・食事選択がツアー客の自由となるので良いと思う。
- ・宿泊施設によるが、費用が安くなっても限度がある
- ・安くなれば当然長く居る事もできる。自炊すればもっと安くなるかしら？
- ・価格が安くなると、今後も継続して参加できる
- ・外食の方が安いとは知りませんでした(思われませんでした)
- ・このようなツアーでは移動時間もかかりますので(外食ですと)その時間をもったいないように感じます。
- ・1食外食が適正だと思います。
- ・夜の外食は値段もさることながら、変化もあり色々楽しむ事が出来ると思う。

- ・外で食事をする方がバラエティに富んで楽しい。
- ・外食もその土地のおいしい物を食べられて良いと思う。
- ・連泊にはいいが、ケースバイケースとそれぞれの楽しみ方で違ってくる。
- ・長期滞在するかどうかの決定は、他の要素の方が大きいと思う。  
その上で、+ の要素としてあるかと思う。
- ・滞在期間はお金だけの問題ではない。短くとも内容が充実していれば良い。
- ・夜の風景を含めて、実生活の実態がわかるので、外食もよい。
- ・泊食分離で地元の食べたい物を食べに行くこともあり、それが必ずしも安くなるとは思われない。
- ・週単位の宿泊が必要ではないか。時間はかなり取れるのではないか。
- ・2泊3日位の滞在期間が丁度よいと思う
- ・仕事がある為、長くなるのは無理と思う

## 5. 健保補助と長期滞在の可能性

### (可能) 16

- ・補助があるため、家計が助かる(7)  
補助がないと家族4人で長期滞在はきつい。  
家族旅行の場合、補助があるとないとでは、滞在日数がかかなり変わってくる。  
金銭的に行き易くなる  
家族旅行で、長期滞在する場合、補助が少しでもあると助かる。
- ・かなりお得になるなら、もう1泊しようと思うから。
- ・休みがそれぞれなので、理由の一つにはなると思う。
- ・健康について、日常では気づかない食生活・文化を知る事は大切。

### (可能と思わない) 4

- ・金銭的な事より、時間的な問題が多い
- ・健保財政にも限度があるので、長期滞在は可能になると思わない
- ・補助が出ると、金額が安くなる為、延泊がのぞめるが、休暇の取得が困難。(3)

### (どちらとも言えない) 6

- ・休みが取れるとは限らない  
スキー場でもいろいろ出費があるので。

## 6. 有給取得によって長期滞在は可能になるか。

### a. 有給を取りましたか。

(1日取った) 6

(3日取った) 1

### (取らなかった) 17

#### ～有給を取らなかった理由～

- ・年末年始の特休を利用した(11)
- ・土日の休みを利用
- ・代休消化
- ・自営業
- ・他に有給を利用するので
- ・小学生の子供がいるので、学校を欠席させられない。  
子供が病気がちで会社をお休みさせていただく機会が多く、有給を使つての旅行は難しい。

### b. 有給取得について

(取りやすい) 4

(普通) 9

(取りにくい) 11

#### ～有給取得の良い方法～

- ・職場環境が問題(3)  
人が多い職場であれば少し取りやすい。
- ・有給を取る為の雰囲気づくり。  
会社全体で有給取得に取り組む。  
周りすべての人が有給をとれば良い  
職場の上司や先輩方が、有給を率先して取れば、下の者はとりやすい。(2)  
仕事の分散、人員配置

- 1年に 日以上有給を取る事。と職場で決めてしまう(2)
- ・有給消化していない人には、続けて有給を取らせる様に義務づける。(2)
- ・社会全般の問題。(2)

まずは、土日全ては休みとし、それがあたりまえとする必要がある。  
あと一日休むくらいは何とかなる。

- ・休暇を取る事が社会のゆとりとして当然である事を、社会がもっと認識する。
- ・社会的に「休みが取れない人は無能でカッコ悪い」という考えが、一般的になるような社会風土を育てる。

### c. 有給が取り易くなれば、農村での長期滞在は可能になるか。

(可能) 13

(どちらでもない) 7

(可能とはならない) 6 以下ご意見

- ・費用がかかるので、金銭面が課題。
- ・有給休暇の日数そのものが少ない為。用途については別に優先されるものがある。
- ・時間よりモチベーションや意義の問題ではないか。
- ・少し遠い。
- ・有給が取れても、家族5人の旅行費用は容易に捻出できない。

## 7. 都市と農村との対流・共生を進める良い考え

### < APRよりのご意見 >

- ・田植えや稲刈りや畑作業または収穫ツアーなど・・・絵を描いたりするツアーも楽しいか？(子供から～老人)
- ・蕎麦打ちや豆腐作りもよかった。
- ・農村ではリラックスしたい人、コミュニケーションをとりたい人といういるでしょうから、いくつかこちらでコースを考えてあげてもいいと思います(お祭りに参加しやすいエスコートのようなプランも)この村を尊敬する心の人を大
- ・地元で採れる素材を使っての1～2週間のダイエット体験「あるある大辞典国」など、目的を絞ってプログラムを組めば集客は十分できると思う。リピーターは自由参加できるようにして連泊を安く。
- ・自分の住んでいる場所を良く知っている人にガイドを依頼すると、その人の持っている知識が伝播すると思う。
- ・自分の生活(環境・自然・食生活)に興味がない人はだめだと思う。
- ・都市で疲れているので、今日のようにあたたかく迎えていただくとストレス等のいやな思いが吹き飛ばすような気

### < グリーンフラスコのご意見 >

- ・企業の社員旅行や保養先のプランを立ててアピールする。(飛び込み営業)
- ・農村在住者で郷土を愛している人と、都市在中者との触れ合いがあると良い。
- ・都市の人に合う農村料理の検討
- ・農村の美観を整える。ちょっと汚くて荒れてて、人がいなくて寂しい感じ。生命感がない。
- ・スタッフが「ターンの方ばかりと言うのは、この旅(ツアー)の意味がない。地元の方の協力をお願いするべき。
- ・農村を気に入って滞在するなら、もっと質素な宿泊施設でも良いのでは。とても立派で快適ではあった。

### < ふるさと回帰支援センターのご意見 >

- ・「おためし暮らし」施設が必要
- ・長期体験型(3～5年)の宿泊設備等があれば、本当の体験ができるのですが...
- ・「一ヶ月住んでみませんか」みたいな企画がほしい
- ・民家に泊まり、実際にその土地の様子を知ることが出来る施設を作ってほしい。
- ・任意の期間滞在し、地元の方々の「ふれあい」体験を通じて、移住・定住につなげる。
- ・短期間滞在して、農業や土地の祭りなどに参加出来る様な体験型の民宿又はペンションのような
- ・地元の人々との交流を通じて、苦労話(マイナス点)をもっと聞ければ参考になると思う。
- ・「古民家ウィークリーマンション」を実現するとよいですね。
- ・土地・建物を新しく購入するリスクが大きいので、賃貸等で一定期間生活してみる条件を作ってもらえると良い。その気になって体験できる。
- ・JAとの連携が良い。
- ・経費がかからない。農村居住の実態がわかる。農村の良い所悪い所がよくわかる。
- ・受入の方法にバリエーションを設け、気軽に来れる体制を充実させることが必要と思う。
- ・農村の良い所等もっと具体的に指示してほしい。
- ・このような企画をもっとアピールして、少しでも多くの参加者を募る。
- ・リスクを克服した話をもう少し多く知らせてほしい。

- ・農村での楽しみ方も大切だが、今後の働く環境等(特に若い世代に対し)必要かと思う。
- ・今回の様な体験ツアーは効果的と思う。また、希望者には情報をインターネットなどで公開する。

### <東京都子ども会連合会のご意見>

- ・モデル的プログラムから、日々選べようにする。
- ・四季折々の良さをもっと宣伝して参加者を増やしたい。
- ・直接、土地の方々との交流が持てたら素晴らしいと思います。
- ・親子・家族で参加すると、料金的にかなりの出費となる。  
東京からだと交通費も馬鹿にならないのではないかな。
- ・色々な角度からのPRが大切
- ・参加者の年齢層を考えプログラムを組む。  
老人会、子ども会(スポーツクラブ含む)等、外泊可能な期間、時期(季節)を考慮する
- ・子供達に自然の良さ、空気の良さを大いに味わせてあげ、自然の中にもいるだけでも貴重な体験をさせたい。その為には、参加し易い料金が第一になる。  
できるだけコストが安いことが、持続性に繋がると思う。
- ・長期休暇を取るには、個人の力だけでは無理。会社や学校関係の整備が必要で、また、その経費をフォローする対策が国や自治体も取り組む必要を感じた。

### <文化学園健保組合のご意見>

- ・農村でしかできない事をツアーに組み込み、定期的に来るような要素を入れる。
- ・その土地でしか体験できないものを親子でできる者なら魅力につながる。  
飯山なら、「和紙の手すき体験」、「笹寿司・手打ちそば等の郷土料理作り」など簡単に体験できるプランだと長期滞在につながるのではないかな。
- ・情報のやり取り。  
どこで、何ができるかを知る手段の提供。
- ・その土地でしか出来ない事を、前面に出して体験させる。
- ・日常の交流促進(例:農産物の直接販売や特産物の紹介などを通じたコミュニケーション)を通じて、滞在受入れを容易にする。
- ・長期滞在となると仕事をしばらくしない訳ですから、職場の周りの方々に迷惑を掛けてしまう時もあるから、むずかしいかもしれない。
- ・農村での参加型のツアー等を実施、長い目で行くことが必要。
- ・国の定める休日が増えない限り難しい。
- ・安い宿泊施設
- ・互いの理解
- ・体験ツアーは、都市部 農村は良いが、逆の場合(農村 都市)もあると交流が出来るので良いのでは、地域の人々と顔見知りになれると滞在しやすいのでは...  
都市部では、農村ではチャンスの少ないエンターテインメントを楽しむなど  
農村部では、地域ならではの祭りや催しを体験したい。
- ・農村で地産を循環していく生活を都市の人が見つけるプログラムを作る。  
草木で有益なモノを農村の人がわかりやすく、都会人に体験を通して伝える。  
農村文化を都市文化と相互に理解できる事を作る。
- ・その土地の暮らし方、建物の保存を大切にしていこう事。  
そういう空間があってこそ、そこでの生活が長く(長期滞在が)出来るようになる。